

## 東北関東大震災

**東電の副社長が避難所を回ったそうだが  
基準値を放射能が上回ったなら「安全ではない」のだ**

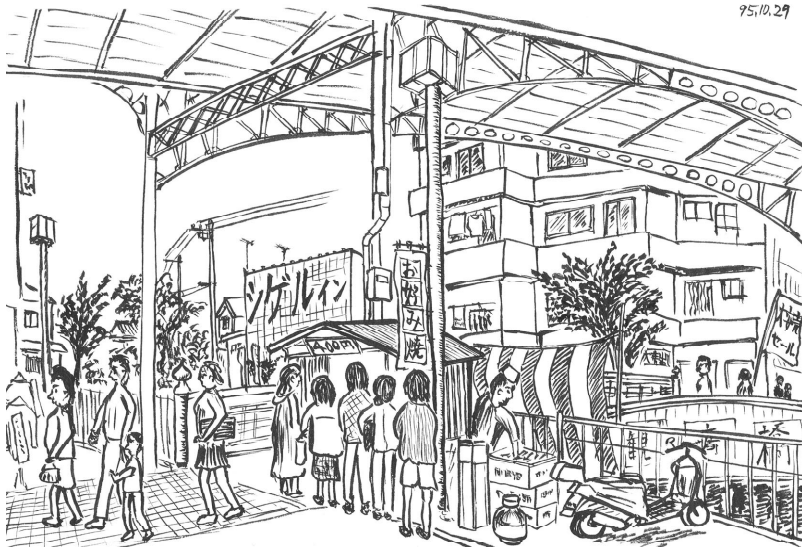
NHKで東電の副社長が避難所を回る映像が流れた。「どうも」とは云うが本当に謝ってはいない。自分の家があるのに、東電の原発事故で家を離れて避難所生活しなければならぬ人々の気持ちをどれだけ分かっているのだろうか? 「自ら避難所で生活をしてみたらどうだ」と云いたくなる。原発が再起困難になる海水注入を早い段階で決断すれば、これほどまでに放射能汚染は広がらなかったのではないか? その責任をとる気持ちが感じられない。

そしてほうれん草の放射能汚染。売れなくなったほうれん草や野菜は東電が買い上げるべきではないだろうか?

それにしても政府の説明は理解できない。「暫定基準値を放射能が超えたからと行って直ちに健康に影響がある訳ではない」と云う。そりゃそうだ。

「直ちに健康に影響が出て」タバタ人が倒れる事態になったら大騒ぎだ。基準値は「これ以上摂取したら健康に影響が出る」と云う放射能汚染レベルを動物実験で求め、その百分の一とかの所に線を引

き、それ以下なら絶対大丈夫だとして決める物。逆に云えば、その基準値を超えたらもはや大丈夫とは云えない。政府は「基準を超えても直ちに影響がある訳ではない」と云っているが、それは「安全とは云えない」と云うことだと思えますが……  
皆さんはどう思われますか?



## 弘明寺－観音橋

弘明寺の山門の前を東に進むと「弘明寺商店街」。その中央を大岡川が横切り、そこに「観音橋」がある。

1970年代までは大岡川の上流には沢山の擦染工場があった。そこで作られるスカーフは横浜の重要な輸出品の一つであった。染め上げた布から余分の染料を落とすため、大量の水で洗い、それがかつては大岡川を流れていた。その為、日によっては川がえび茶色になったり、紺色になったりしていた。また、一部の擦染工場では直接川で布を晒していた。今では、下水処

理が進み、現在の大岡川は水もきれいになって来た。水辺まで下りることが出来るようになり、鯉に餌をやる人もいる。又、カルガモが泳いだり、鷺が歩く川となっている。

その観音橋のたもとにはお好み焼きさんの屋台が出ていて、いつもお客さんが列を作っている。

日本アンデパンダン展は三連休だけ開いて休館。次は26-27の土日に開きます。